

# 爭議日誌抄

(前號ヨリ續キ)

## 一 社員

四六

○十一月廿三日

爭議團側ニテハ、既ニ職闘資金ノ半額以上ヲ費消セリトイフ。

「再ビ諸君ニ告グ云々」ト題スル聲明書組合側ヨリ出ヅ

○十一月廿四日

操業中ノ各工場ノ内部ノ實況ヲ知ラシムルタメ本日附テ以テ爭議團員家族ニ縦覧案内狀ヲ出ス。尙、各新聞記者及正義團有志ニモ案内來觀ヲ請フ旨發信。

總同盟野田支部ノ名ノ下ニ「天下一品ノ龜甲萬モ中味ハ山サト同ジ」ト題スル惡宣傳ビラ出ヅ。東京、神奈川、埼玉方面ニセ撒布スル由。宍野ノ加ハルト共ニ、爭議團側ハ漸ク斷末魔的妄動ヲナシ來ル。

○十一月廿五日

來レルモ拒絶ス。

午後六時ヨリ野田劇場ニ於テ、鈴木文治ノ國際勞働會議出席報告演說會アリテ一般町民モ二百名位傍聴セルガ、本爭議問題ニハ餘リ觸レズ。

○十一月廿七日

日曜日ナレドモ應援者來ラズ、爭議團ハ招致隊ノ活動ヲ妨害スルニ専念ス。

各工場宛發信、反省ヲ求ム。

歸工員家族ニ對シ慰安袋發送書信ヲ同封ス。

○十一月廿八日

「工場ヲ棄テテ總同盟ノ傘下ニ集マレ」トノビラ出ヅ。

罷業團員ニシテ商誘銀行ニ預金ヲ有スル者ハ本日午後一齊ニ引出シテ直チニ郵便貯金ニ振替フ。總額約七千圓。

夜第三工場ニ於テ、在場者ニ對シ醸造部長、工場課長ノ講話アリ。

○十一月廿九日 雨

第六、第八、第十三各工場操業開始、生産全ク平常ニ復ス。爭議ハカクテ經濟戰タラザルニ至ル。

招致隊盛ニ活動シ、復歸者數從テ多シ。

情報ニヨレバ「モシ裏切りタル場合ニハ家財道具一切ヲ沒收サレテモ異議ナキ」旨ノ證書ヲ取纏メ中ナリト。

本日第九、第十兩工場ヲ縦覧セラレタル記者諸君ハ、ソノ作業振及工場内ノ酒掃振ガ爭議前ニ比シテ隔段ノ差アルニ驚カレタリトイフ。爭議團側ノ惡宣傳ハ、カクテ公平ナル第三者ニヨリテ全く無根ナルヲ證明セラレタルナリ。

○十一月廿六日

復歸者數漸ク多ク、爭議團ノ内紛日毎ニ加ハルモノノ如シ。

「爭議團ニ損耗ヲ懸ケタル節ハ爭議費用ヲ辨償スベシ云々」ノ證書ヲ各團員ヨリ團長宛ニ提出セシメツツアリト。

松原町吉ハ本日警察ヲ通ジテ重傷ニ面會テ來ル。

○十一月卅日

本月一日ヨリ野田劇場開場興行スベシトノビラ本日町内ニ撒布サレ、爭議團側ノ狼狽與奮極度ニ達ス。

爭議主體ヲ關東醸造勞働組合ニ移スベシトノ風説アリ。

會社ヨリ各爭議團員ニ發信、「團長宛ノ各種誓約書ガ法律的ニ無効」ナル所以ヲ知ラシメ反省ト決心トヲ求ム。

午後六時頃第四工場前ニ於テ第六工場係員常陸三郎、同夜警夫吉村ハ爭議團員數十名ニ襲ハレ、吉村ハ前額部ニ裂傷ヲ負ヒ相當出血アリ。コノ外社員、復歸工員、夜警夫等諸所ニ於テ暴行ヲ受ク。

○十二月一日

未解決ノ儘師走ヲ迎ヘ、爭議團側ノ焦躁漸ク加ハリ來リ、隨所ニ暴行ヲ逞クス。

會社ニテハ本日各工場門前及町内要所々々ニ「無効ノ論文」ト題スルポスターヲ貼付シ所謂罰金證文ノ無効ナルヲ知ラシメタリ。然ルニ爭議團幹部ハ、之レガタメニ著シク昂奮シ團員ヲ指揮命令

四七